

桃李の里



自然が教えてくれること

9月25日(金)に秋をかんじよう(秋の遠足)、9月29日(火)に花育(生け花の学習)を行いました。学校の中だけでは、なかなか味わうことができない体験をすることができました。

自然が人間を守ってくれていることを知ったり、自然が人間に与えてくれる素晴らしさに感動したりする経験が、子どもたちの見方や考え方の深まりにつながりました。

子どもたちが様々な体験をする中で、生きていることの素晴らしさを実感できたり、よりよく生きようと考えたりする『**生き方**』につなげられたらと思います。

芸能人の自殺の報道が相次いでいますが、子どもたちに決してそのようなことが起きないように、小さな心の変化にも寄り添えるように努力して参ります。



つながりを力に



9月30日(水)市陸上競技大会が信夫ヶ丘陸上競技場で行われました。6年生4人も素晴らしい成績でした。特に、佐藤生希さんは、女子走り幅跳びで3位に入賞することができました。

下学年が昇降口に応援メッセージを掲示してくれる等、学校全体で6年生を盛り上げてくれました。人間は周りから期待されると、その期待に応えようと努力したり、上手くいかなかったときは、次は上手くできるようしようと意欲をもつことができます。あまり期待が強すぎると精神のバランスを崩してしまうこともあります。各担任の先生方が個に応じて対応してくださっています。

未来が予測できない時代だからこそ、周りの人とつながっている「**つながり感**」が今の子どもたちにとって、とても大切なものだと考えています。

「ひとりではない、大丈夫」と子どもたちが思えるよう、みんなと共にやり遂げる喜び、楽しさを今後も体験させ、その都度認めてあげられるようにしていきます。

6年生、お疲れ様でした。



【校長のつぶやき】

- 渡邊 雪乃(わたなべ ゆきの)さんは、いつも話す人の目を見て聞いています。また、うなずきながら笑顔で聞く、聞き方名人です。周りを温かい雰囲気のできるすごい人です。

